

四季、源泉、歴史に人は音楽を宿す。米沢。

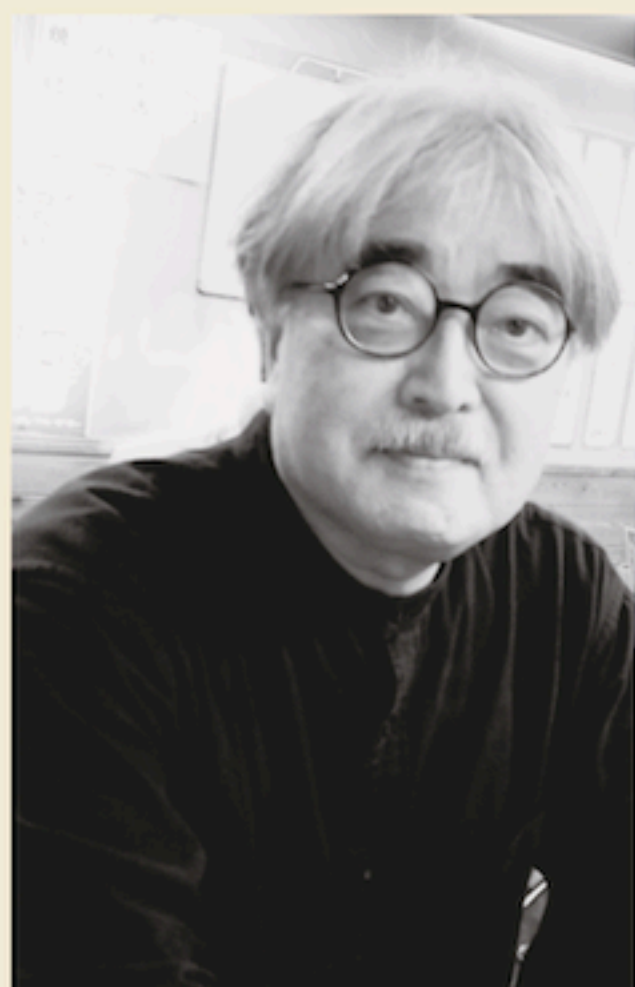
去年は、無事に創立40周年を祝うことができました。コロナ禍の中であっても演奏の活動を絶やさなかったメンバーたちがいます。素晴らしいと思います。

『人間は創造しない。発見をするのだ』。時空に人間の可能性を描いた人、サクラダファミリアの建築芸術を生んだA.ガウディの言葉は、私達の表現に力を与えます。

フルートと声の響き。楽しみたいと思います。

今回も、私達の演奏を支えてくださるリユート奏者の永田斉子氏に深く感謝申し上げます。

米沢フルート音楽研究会 主宰 勝俣 敬二



勝俣敬二 Keiji Katsumata フルード奏者・グレゴリオ聖歌指揮者

米沢市に生まれる。日本大学芸術学部更に同大学芸術研究所を卒業後、スイス政府の推薦留学生としてバーゼル市立音楽大学及びバーゼル・スコラ・カントゥルムに留学。各時代のフルード、グレゴリオ聖歌を学びスイスの芸術家資格ディプロムを得る。長く日本国内や36回の渡欧、ヨーロッパ各地でリサイタル他演奏活動を展開。数多くのスイスの現代音楽を我が国に紹介し初演、邦人作品をヨーロッパにて初演した。母校日大芸術学部講師として室内楽、古楽〔調性論〕を講義。現在、東京バッハ・カンタータアンサンブルフルード奏者。レーズン派フルード・デュオ同人。フルード・セミナリオ主宰。米沢、新発田、那珂 各フルード音楽研究会主宰。聖アンセルモ・グレゴリオ聖歌隊及び米沢グレゴリオ聖歌隊指揮者。一般社団法人支倉常長日西文化協会正会員。伊達三日月街道活性化協議会会員。令和3年度米沢市芸術文化協会特別賞受賞。令和5年より同協会主催事業『市民芸文講座フルード講座』『こども文化クラブフルード講座』の講師を担当している。主なCDには『天正少年使節と400年前の音楽』『F&K.ドップラーフルード音楽選』『J.B.deボワモルティエ・6つの組曲集』『G.フォーレとC.フランクの芸術』がある。

永田斉子 Seiko Nagata

リユート奏者



国際基督教大学、フランス国立ストラスブール音楽院リユート科卒業。ルネサンス～バロック時代の各種リユート、ギターを用いてソロやアンサンブルで演奏活動を行っている。リユートを中心としたサロンコンサートを企画・運営するルミエールプロジェを主宰し、演奏される機会の少ない作品に光をあてる活動を継続中。一方で、広くリユートの魅力を発信する活動として朗読音楽会「ロバのおうじ」を連続公演中、その公演数は100回を超えている。月琴奏者でもある。seikonagata.com



米沢フルード音楽研究会

1982年、スイス留学から帰国した米沢市出身のフルード奏者勝俣敬二氏が開いたフルード教室を母体として創立した。以来40年に亘り後進の指導とアットホームで創造性豊かな活動を続けてきた。当初から深い知識（古楽）や歌うことの素晴らしさ（グレゴリオ聖歌）など西洋音楽の源泉を見つめて独自の音楽観を育んできた。活動内容は、入門者から専門の方まで月1～3回の個人レッスン、合奏、講座、季節の合宿、定期演奏会、海の日コンサート、地域ボランティアや海外音楽研修旅行（これまで1993年米国、1995年スイス、1997年ポルトガルとスペイン、2000年ポーランドとドイツ、2004年オーストリーとチェコ、2007年スイス、2010年スイスとフランス、2013年イタリア、2016年スイスとドイツ）を行った。スイス・レンク村での古楽講座は4回を数える。これまで、山形県県民芸術祭優秀賞2回、同奨励賞、米沢市市民芸術祭優秀賞、同奨励賞、山形県社会音楽祭完戸杯2回、同奨励賞等を受賞。

生徒募集のお知らせ ～初心者から専門家まで～

米沢フルード音楽研究会のフルード教室と講座

<主宰講師> 勝俣 敬二 阿部志穂（吹奏楽他）

<客員講師> 陸井鉄男

<お問合せ>

フルード教室直通 tel 0120-032574 090-8584-0400

メール flauto-seminario@docomo.ne.jp

ブログ [https://blog.goo.ne.jp/f\\_seminario](https://blog.goo.ne.jp/f_seminario)

風のセミナリオ

会員募集!  
グレゴリオ聖歌を  
米沢で、学び  
歌えます!

